

子どもたちの
自律を目指す

「けつふれ学習」について



中央小学校では、6年間を通して「自分で自分の力を伸ばすために学ぶ子」を育てたいと考え、日々の活動に取り組んでいます。高学年で、自分に必要なこと（学習）を自分で選択し、取り組めるようになることを目指し、子どもたちと学習を進めています。そのために取り入れているのが「けつふれ学習」です。「けつふれ学習」は、自分にとって何が必要な学習かを子ども自身で考え、どんな方法でどれだけ学習するかを決めて取り組む方法です。3年生の後半あたりから、少しずつ練習を始めていきます。

～けつふれ学習の仕方～

⇒計画…その日の「めあて」を書く

ノートの1行目に計画として「その日のめあて」を書きます。**どんなことをどのように頑張るのか**を考え、「なぜそれをするのか」という理由まで書ければ最高です。めあてを決める際には、単元テストや小テストで点数を取れるように準備をすることをひとつの目安としています。

⇒トライ…自分で課題にトライ(テスト)をする。

ドリルや教科書の問題がのっているページを見て問題を解いてみます。もし、わからない問題を見つけたら、それが本人にとって必要な学習です。そのため、間違いを見落とさないように注意深く丸付けをすることが必要です。

⇒ふりかえり…もっと賢くなるためにどうすればよいか考える。

テストをしたら、その結果をふりかえり、苦手な学習、問題を見つけ出します。書くことが思いつかない時は、その日のテストの感想を書いたり、「よっしゃ!」とか「くやしい」とか、自分の気持ちを書いたりしてもいいです。

⇒練習…実際にやってみる。

ふりかえりで見つけた苦手な学習に取り組みます。苦手が見つからなかった子は、どんどん先の学習に進んでもいいです。

「けつふれ」ノートをCHECK!!

け…計画

① 単位数あたりの大きさの学習が
苦みだからしよう。

② 教科書 P271

ト…トライ

⑦ 15kgで300円のみかんを16kgで
400円のみかんではどちらのほう
が安いといえますか。

$$300 \div 15 = 200$$

$$\text{式) } 15 \div 300 = 0.005$$

$$400 \div 16 = 250$$

$$16 \div 400 = 0.004$$

⑧ 12本入りのえん筆が600円から
480円に下げられて売られています。
1本あたり何円安くなりましたか。

$$\text{式) } 600 \div 12 = 50$$

$$480 \div 12 = 40$$

$$50 - 40 = 10$$

A, 1本あたり10円
安くなっています。

⑨ 沖縄県の面積は2281で人口は144
万人です。沖縄県の人口密度を
四捨五入して一の位までのがい
数にして求めましょう。

$$\text{式) } 1440000 \div 2281 = 631$$

A, 沖縄県の人口
密度は631
人

⑩ A, B 2台の自動車があり
ます。Aの自動車はガソリン1
Lあたり14km走れます。Bの自
動車は1Lあたり17.5km走れま
す。それらの自動車で700km走
るとすると使うガソリンの量は
どれくらいちがいますか。

$$\text{式) } 700 \div 14 = 50$$

$$700 \div 17.5 = 40$$

$$50 - 40 = 10$$

10Lちがいます。

ふ…ふりかえり

⑤ 網をぬいてしまったり式の順番
をまちがえてしま、たのでテス
トとAでまちがわないように気
をつけたいです。

れ…練習

① $\frac{4}{5} = 4 \div 5 = 0.8$

② $\frac{1}{2} = 1 \div 2 = 0.5$

③ $\frac{9}{25} = 9 \div 25 = 0.36$

④ $\frac{12}{5} = 12 \div 5 = 2.4$

⑤ $\frac{1}{4} = 1 \div 4 = 0.25$

$$\frac{1}{30} = 1 \div 30 = 0.033$$

『けつふれ学習』 Q & A

Q. 一日に学習する時間やノートのページ数、内容などは決まっているのですか。



A. 決まっていません。子どもたちそれぞれの得意、苦手に応じて変わっていきます。授業の際に、「けつふれで〇〇ページの問題をすると復習になるよ。」など、各教科で学びのヒントを出すようにしています。

Q. 毎日同じドリルの問題ばかり解いているのですが、何か他に学習に活用できるものはありますか。



A. 子どもたちが選んで活用できるように「プリントボックス」を設置しています。また、算数や国語の言葉の学習については「タブレットドリル」の活用も可能です。

Q. 決められた宿題があったときと比べ、家庭学習の時間が短くなっているように感じています。どのように声かけをしていけばよいでしょうか。



A. まずは、子どもたちの取り組みが成果につながっているか見極めることが必要です。短くなっても、成果につながっていれば自分に合った効果的な学習方法を見つられているということ。その分、他の学習に活用できるように背中を押してあげてください。

Q. 簡単なことばかりに取り組み、力がついていないように感じています。どうすればよいですか。



A. 中には自分にできる課題を選択して、さっと終わらせてしまい苦手に向き合えていない様子の子がいるのも現状です。そんな時や取り組み方に悩む様子が見られるときには、学校にいつでもご連絡ください。個々にあった方法・内容を一緒に考えますね。また、学期に1回程度「けつふれ学習交流会」を行い、友だちから学ぶ機会もあります。

いきなり自分一人の力で学べる子はいません。時には、うまくいかないことも経験することで、「学び方」そのものを考える力も育っていきます。お家でも、お子さんの学習に向き合う姿を見守りながらがんばりを認めたり、時にアドバイスを送ったりと励まして頂けると幸いです。